

井原市
教育便り

と も な び

2023.12
VOL.14

今回のともしなびは、
子どもたちの学力の
状況などをお知らせ
します。



井原市マスコットキャラクター
でんちゅうくん

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果から

1 学力調査の状況 (平均正答率%)

	小学校6年生		中学校3年生		
	国語	算数	国語	数学	英語
井原市	67	60	72	49	42
岡山県	68	61	70	51	44
全国	67.2	62.5	69.8	51.0	45.6
県比較	▲1.0	▲1.0	2.0	▲2.0	▲2.0
全国比較	▲0.2	▲1.5	2.2	▲2.0	▲3.6

令和5年度の全国学力・学習状況調査は4月18日に小学校6年生と中学校3年生を対象とし小学校は国語、算数、中学校は国語、数学、英語の科目で行われました。

国語について小学校では、「話す・聞く」の領域では全国値を上回りましたが、「書く」領域では7ポイント以上全国値を下回りました。中学校では「書く」の領域で8ポイント以上全国値を

上回りましたが、「読む」の領域では約3ポイント全国値を下回りました。

算数・数学について、小学校では「変化と関係」の領域で5ポイント以上全国値を下回りました。中学校では「データの活用」の領域で3ポイント以上全国値を上回りましたが、「図形」の領域では5ポイント以上全国値を下回りました。

英語について、「書く」の領域で5ポイント以上全国値を下回りました。

2 学習状況調査の状況 (※上段 肯定率% 下段 全国との差)

質 問 事 項		小学生	中学生
①	国語の授業の内容はよく分かる。	91.7 (6.0)	83.8 (3.8)
②	算数・数学の授業の内容はよく分かる。	83.0 (1.8)	88.6 (15.3)
③	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいたと思う。	83.4 (4.6)	80.8 (1.6)
④	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていたと思う。	87.0 (5.2)	85.6 (5.9)
⑤	学校の授業時間以外に、1日あたり1時間以上勉強している。	66.0 (8.9)	62.3 (▲3.5)
⑥	自分には、よい所があると思う。	81.9 (▲1.6)	81.1 (1.1)

小中学校ともに「③授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいたと思う。」「④学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていたと思う。」の項目が全国値を上回っていることから、主体的で対話的な学習が行われていることがうかがえます。

一方で、「⑤学校の授業時間以外に、1日あたり1時間以上勉強している。」について、小学校は全国値を上回っているものの中学校では下回っていることから、家庭学習習慣の定着に課題があることがうかがえます。

また、「①国語の授業の内容はよく分かる。」「②算数・数学の授業の内容はよく分かる。」について小中学校ともに全国値を上回っているものの、平均正答率が全国値を下回っている教科もあることから、学習内容の定着を意識した指導や発展的な問題の取り扱いを意識した授業展開が必要であると考えます。

調査結果を受けて、今後の主な対応

- (1) 引き続き、基礎基本の確実な定着を目指した「わかる・できる」のある授業改善の推進
- (2) 調査結果の誤答分析並びに、授業で扱う学習内容についての検討
- (3) 児童生徒が取り組む意義を感じ主体的に家庭学習に取り組むことができる、授業とつながる宿題(予習・復習)の設定
- (4) 各種研修会等で各校の取組の共有を図り、他校の好事例の実践

子どもたちの未来のために

グローバル化やAIなどの技術革新が急速に進む予測が困難であるといわれるこれからの時代において、子どもたちには自ら課題を見つけ、自ら考え、自ら判断して行動できる力が求められます。

井原市立の学校においても、子どもたちが「どうすればいいだろう」「こうしたらできそうだ」と自らの考えをもち、その考えを友達との対話を通して広げ深めていく授業が展開されています。そのような子どもたち主体の授業の中で、この先必要とされる自ら課題を見つける力や自ら判断し行動する力を着実に身につけていってほしいと思っています。

また、子どもの成長には家庭と地域の協力も欠かせません。ご家庭において、学校で学んでいることや学校での活動、将来のことについてお子様と話をしたり、考えたりしてみてください。

いばらっ子生活リズム向上プロジェクト

令和5年度 生活習慣に関するアンケートの結果から(実施期間:令和5年4月~6月)



一日60分以上体を動かすいばらっ子

未就学児……28.4% 夜型の子どもの生活リズムは、運動で改善できます。
小学生……52.7% 運動のゴールデンタイムは15~17時です。運動すると、自律神経の動きがよくなり、何に対しても意欲をもって行動することができます。
中学生……41.7%
高校生……19.0%

いばらっ子の睡眠時間



就寝時刻と睡眠時間の目標は、
未就学児: 21時までに就寝&9時間30分以上睡眠
小学生: 21時までに就寝&9時間以上睡眠
中高生: 23時までに就寝&7時間以上睡眠 です。

- ★(未就学児) 睡眠時間が9時間半未満の子どもには、集中力の欠如、イライラ、多動傾向、体力・社会性の低下が見られる。
- ★(児童・生徒) 睡眠時間が7~9時間の子どもの成績がよい。
- ★(生徒) 午前0時までに就寝している子どもの成績はよい。というデータがあります。



睡眠時間がグラフの赤色、桃色表示にあてはまる人は、睡眠時間を確保できるよう気を付けましょう。



オリエンテーリングで交流

井原市連合少年団協議会は、去る11月11日(土)、県主小学校で「第50回井原市少年レクリエーション大会」を開催しました。参加した135人の児童は、県主地区をめぐるオリエンテーリングで交流を深めました。優勝は、井原地区の「KRNT」チームでした。

▶チェックポイントをめぐる参加者たち

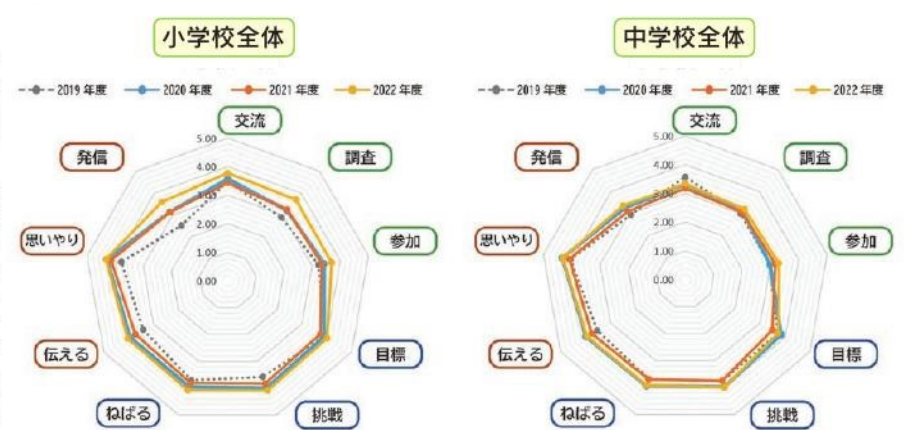


子どもたちの『井原“志”民力』、伸びてます！

市では、これからの時代を自分らしく、幸せに生き抜く力として世界で注目を集める非認知能力を独自に「井原“志”民力」として整理し、地域・家庭・学校の連携・協働により育成を図ってきました。

『井原“志”民力』は、「いばら愛(郷土愛と当事者性)」「やり抜く力(向上心と忍耐力)」「まき込む力(発信力と協働性)」の3領域に係る18の行動指標で構成されていますが、年1回小学4年生以上の児童生徒を対象に実施している実態調査の結果を比較したところ、これまでの取組の成果が感じられる変化が見られています。

子どもたちはもちろん、大人たちも一緒に「井原“志”民力」を意識することで、みんなで自分とふるさと井原を愛し、よりよい未来のために実行する「井原“志”民」をめざしましょう！



祝 入館2万人

令和5年4月18日にリニューアルオープンした平櫛田中美術館は、11月9日に来館者数が2万人を達成しました。これを記念して2万人目の来館者に記念品を贈呈するセレモニーが行われました。兵庫県播磨町から姉妹で訪れた浅原澄子(あさはらすみこ)さん(70歳)に大舌市長より、平櫛田中の書「いまやらねば」がプリントされたタンブラーや「不老」の色紙などが贈呈されました。



4年ぶり
開催!

市民体育祭・片山科学子ども教室



10月1日(日) 井原運動公園陸上競技場で4年ぶりに市民体育祭を開催しました。当日は、午前中のみの短縮開催となりましたが、市内の13地区から、約1000人の方が集まり新種目の長縄跳びや、過去に行われていたディスクキャッチリレーなど5種目を行いました。

出場した選手は、各地区のテントから熱い声援を受けながら懸命に競技をしていました。

スポーツの秋に気持ちの良い時間を過ごしました。優勝は井原地区、準優勝は高屋地区、第3位は木之子地区でした。

10月29日(日)に岡山理科大学ボランティアセンターの学生さんをお招きし、4年ぶりに「片山科学子ども教室」を開催しました。当日は芳井生涯学習センターに130名以上の参加者が集まりました。

開会行事の後、サイエンスショー「飛ばして遊ぼう」ではスポンジボール・ブーメラン・熱気球・空気砲など様々なものを色々な力を利用して飛ばすところを見せてもらいました。

その後は、5つのブース「ブラックウォール」「色が変わるおかしな液体」「水の力と津波のひみつ」「遺伝子のひみつ」「空気銃」に分かれて科学の楽しさを味わいました。

参加者からは、「空気銃が楽しかった。」「サイエンスショーがすごかった。」等の感想が寄せられました。科学の魅力に気づき、理科が好きになるきっかけになれたのではないかと感じることができました。



鏡獅子 20年ぶりの里帰り

井原市名誉市民・平櫛田中が22年の歳月をかけて完成した傑作が平成15年の特別展「平櫛田中の全貌展」以来、20年ぶりに井原市で展示されます。

普段は東京の国立劇場のロビーに置かれていますが、国立劇場が建て替えの間、平櫛田中美術館に長期貸与されることになりました。令和6年2月7日から令和11年まで約5年半の間、平櫛田中美術館で常設展示されます。



平櫛田中「鏡獅子」1958年
東京国立近代美術館蔵
撮影 坂本写真研究所

第20回 雪舟サミット in井原開催



室町時代の水
墨画の大家・雪舟
にゆかりのある
自治体が集まる
雪舟サミットが、

10月28日(土)、13年ぶりに井原市で開催されました。参加自治体は、島根県益田市、山口県山口市、山口県防府市、岡山県総社市、井原市の5市です。

サミットでは、参加自治体の市長が、観光に関する市の取り組みや雪舟とのゆかりを紹介したり、講演会では美術史家の宮島新一先生の他、井原市出身のお笑い芸人、ブロードキャスト!!の房野史典さんに、雪舟について分かりやすくお話しいただき、来場者に好評でした。

また、夏に開催したサミット関連企画である水墨画教室に、大江小学校5、6年生が参加してくれており、その時に制作した作品を、今回の雪舟サミットに合わせてロビーで展示しました。これは日本水墨画美術協会の公募展と合わせての展示で、多くの方が足を運んでくださいました。

雪舟サミットには200人以上の来場があり、井原市と雪舟のゆかりを再認識していただく、よい機会となりました。

芳井歴史民俗資料館特別展 「市制施行70周年記念 井原市のあゆみ」

この度は第54回特別展として、井原市の市制施行70周年を記念する展示を、昭和時代にスポットを当て、特徴的な事業や出来事を紹介しました。

具体的には、1) 初代大山文雄市長の事績、2) これを引き継いだ山岡昇・小野強両市長時代の市民の要望、3) 市民病院とスモン病発生の経過を紹介しました。

また特徴的な産業として、4-1) 青野を中心としたぶどう栽培、4-2) 井原市の乳牛飼育の促進剤となった乳牛貸付事業、5) 伝統的な織物産業の変遷、6) 井笠鉄道と井原鉄道の歴史を紹介しました。

来館者に当時の市民生活を想像してもらい、また現在の産業の源流を知ってもらいたいという思いで開催しました。

▼展示風景



奨学資金 — 次代を担う井原の学生を応援します —

●井原市奨学資金貸付

教育委員会では、経済的事情により修学困難な学生を対象に奨学資金の貸し付けを行います。

【貸付対象】

- ・市内に住所を有しており、高等学校、大学、またはこれに相当する学校に在学している人等
- ※日本学生支援機構など、他から奨学資金の貸し付けを受ける人は対象外です。

【貸付金額】

- ・大学またはこれに相当する学校 …月額5万円
- ・高等学校またはこれに相当する学校…月額1万円

【奨学資金の返還】

- ・貸し付けた奨学資金は、卒業してから1年後、貸付期間の3倍の期間で返還

●返還の特例●

- 奨学資金を借り受けた人が、卒業後、返還期間満了まで市内に居住または、市内の事業所などに勤務すれば、申請することによって返還の特例(全額免除)が適用されます。

(令和5年12月現在)

●井原市奨学金返還支援補助金

日本学生支援機構第一種奨学金を借りて大学等で修業し、卒業後、市内に定住などを行っている方に奨学金の返還金額の一部を補助します。

※正式な奨学金借入の申し込みを行う前に手続きが必要です。

【事前登録対象】

- ・大学等に進学する本人もしくは保護者等が市内に住所を有している人
- ・日本学生支援機構第一種奨学金の貸与を受ける見込みである人
- ・大学等を卒業後、市内に定住し、かつ就労する意思のある人

【補助金額】

- ・月賦返還額(上限15,000円)×12か月【最長72か月・最大108万円】

(令和5年12月現在)

申請方法 教育総務課に備え付けの申請書にその他必要書類を添えて申し込み

※詳しくは教育委員会ホームページをご覧ください。

【問い合わせ】4階、教育総務課(TEL62-9531)

井原市教育委員会便り と も な び

■発行 井原市教育委員会

■編集 教育総務課

■住所 井原市井原町311-1

TEL 0866-62-9531 FAX 0866-62-0332

メール ksoumu@edu.city.ibara.okayama.jp